

ドリームティーンズコーナー通信

今回のテーマ展示はコレ!!

中高生の皆さんへ



平和について考えよう

7月14日(金)～9月13日(水)

ドリームティーンズコーナーでは
3つのテーマをもとに、
平和について考えるための本を用意しました。

知る・・・過去の戦争などについて
感じる・・・小説や、体験記など
考える・・・平和について考えるための本など

ぜひご覧ください。



↓↓展示図書から一部本を紹介↓↓

『戦中派不戦日記』 山田風太郎／著

のちにエンタメ作家となる山田風太郎は、医学生であった終戦前後に何を考えていたのか。学生生活、疎開、空襲などをどのように体験したのか。多くの同年代が兵隊にとられていたなかで、貴重な声を聞くことができます。

『マララ』 マララ・ユスフザイ／著

2014年、最年少でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさん。本書は、8歳から17歳までにマララさんが経験した出来事が「わたし」の語りで書かれています。是非、手に取ってみてください。

『あのころはフリードリヒがいた』 ハンス・ペーター・リヒター／作

ヒトラー政権下のドイツ。ユダヤ人の少年フリードリヒの物語が、幼なじみでドイツ人の「ぼく」の視点で、年代順に描かれています。淡々とつづられる日常が、より現実として考えさせられる1冊です。

新着ピックアップ

伝記

『牧野富太郎 草木を愛した博士のドラマ』

光川 康雄／著

現在、朝の連続テレビ小説「らんまん」がNHKで放送されていますが、中高生のみなさんは見たことがありますか？日本の植物学者 牧野富太郎をモデルとし、神木隆之介主演のドラマオリジナル作品です。「らんまん」のモデルである 牧野富太郎の生涯について分かりやすく書かれた図書になっていますので、是非、手に取ってみてください。

料理

『てんきち母ちゃんのはじめての自炊練習帖』

井上 かなえ／著

自炊。それは永遠のテーマ。

大食いだろうと、小食だろうと、人間は何かを食べないと生きていけない。めんどくさいくても、疲れていても、なにかは食べないと生きていけない。外食もいい、レトルトだっていい。でも、自炊だっていい。やれば少しずつうまくなるし、自分に合った自分だけの料理を作れるようにもなる。

音楽

『日本の一流指揮者21人が選ぶ心の交響曲』

祝田 秀全／監修

クラシックなんてかったるい。むずかしそうだし、曲名がおぼえられない。今まで私も思っていました。でも、ネットで気軽に聞けるようになって、好きなアニメの挿入曲になっていることに気づくようになりました。作品への愛着も深まります。この本もQRコードが載ってて曲が気軽に聞けます。

言語

『目でみる方言』

岡部 敬史／文

日本全国の方言をとりあげて、そのことばが使われている地域で何を意味しているのか、写真で「見てみる」1冊です。鳥取県の方言として紹介されているのは「コモコモさん」。正解は、ぜひ本で確認してください。

鳥取県立図書館

「ドリームティーンズコーナー」の
ホームページも見てネ！



【URL】<http://www.library.pref.tottori.jp/>



鳥取県立図書館

☎0857-26-8155

2023年7月発行

